

幼児教育方法論

科目ナンバリング EDU-125

選択 2単位

高橋 詩子

1. 授業の概要(ねらい)

幼稚園の実際について考える。講師の勤務する幼稚園を素材として提供、その園の子どもの姿から「子ども理解」を進めながら、幼児期での教育、保育の具体的な方法に触れ、その意味を考える。

2. 授業の到達目標

具体的な方法を知りその意味を考えるを通して、カリキュラムの在り方を考え、さらにその策定に関わる意味を探る。各実習を通して現場のカリキュラムについての考察につなげる

3. 成績評価の方法および基準

授業の取組の様子(40%)、提出物(30%)、まとめの課題(30%)

4. 教科書・参考文献

教科書

幼稚園教育要領解説

幼児期(岡本夏生著)

5. 準備学修の内容

幼児や教育についての社会問題や事件に関心を持ち、仲間と意見交換をすること
授業内容、授業でのディスカッションなどの内容をノートすること

6. その他履修上の注意事項

その他、自分が授業を作る一員であることを自覚し、積極的に取り組むこと

7. 授業内容

- 【第1回】 講師紹介と園の紹介、幼時期の保育方法の在り方を考える
- 【第2回】 具体事例を通して子ども理解がなぜ必要かを考える
- 【第3回】 環境による保育方法とは
- 【第4回】 担任の役割り 子どもと遊ぶということ
- 【第5回】 ごっこ遊びを考える①
- 【第6回】 ごっこ遊びを考える②
- 【第7回】 言葉について考える①
- 【第8回】 言葉について考える②
- 【第9回】 実践事例を通して保育方法を考える①
- 【第10回】 実践事例を通して保育方法を考える②
- 【第11回】 運動会取組から ねらいと保育方法
- 【第12回】 仲間 ねらいと保育方法の関係を探る
- 【第13回】 保育記録の実際を通して教育課程を探る
- 【第14回】 保育計画・教育計画の構造
- 【第15回】 振り返りとまとめ